映文連アワード 10周年特別上映会

この10年 10のまなざし ～ Ten years, ten views ～

11月22日(Tue.)
ユーロライブ

11月23日(Wed.)
IMAGICA第1試写室

Challenge 挑戦

11:00

ホワイトエッセンス ～挑戦～ 31分

歯を白くするホワイトニングを全国 92 店舗で展開するホワイトエッセンス。新宿店で一人の歯科衛生士がセラピストとしてデビューする姿を通して、内部からしか知り得ない徹底した顧客満足主義を描いたドキュメンタリー。

2013 優秀作品賞（準グランプリ） 製作：メディアフォーユー㈱　クライアント：㈱エイ・アイ・シー

11:33

ノンフィクションW 盲目のストライカー 世界へ ～ブラインドサッカー日本代表　闘いの軌跡～ 43分

IBSA ブラインドサッカー世界選手権に臨むエーススストライカー黒田智成選手と日本代表チームに密着取材。自国開催となった大舞台で、世界の強豪に挑んだ夢と闘いの軌跡を描く。

2015 文部科学大臣賞　製作：㈱エネット　クライアント：㈱ WOWOW

12:17

パンポン（Pang Pong）- 日立 4分

茨城県日立市では知らない人はいないという、日立製作所発祥のスポーツ「パンポン」。100 年を経た今もなおパンポンコートで繰り広げられる闘いの魅力をダイナミックに伝える。

2015 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】 製作：㈱Kプロビジョン　クライアント：㈱日立製作所

12:22

映画『仁義なき戦い』を描いた男 脚本家・笠原和夫 創作の記録 43分

映画「仁義なき戦い」は実録映画と言われるが、人物設定やエピソードなどは脚本家故・笠原和夫の創作による部分も多い。笠原の日記や手紙などをもとにこの映画の魅力と創作の秘密に迫る。

2014 優秀企画賞　製作：東映㈱ / ㈱ WOWOW / ㈱アマゾンラテルナ

Others 他者

13:20

Kingyo 25分

冬のある日、秋葉原のメイドとして働くちりは、大学教授の男と出会う。再会を懐かしむが、男が意外なことを切り出す。妻が死んだというのだ。会話が進むにつれて、二人の過去が明らかになっていく。

2009 優秀作品賞（準グランプリ）/ ニュークリエーター賞　製作：エドモンド・楊（当時 早稲田大学 大学院国際情報通信研究科）

13:47

ヘビと映子と佐藤のこと 32分

顔にトラウマを抱えた女とそれを興味本位で眺めている女。軽薄にも見えるやりとりの中、切実な思いが交錯する。分かり合えない寂しさとワケのわからないまま一緒にいられる人間の便利さが生み出した愛らしい映画。

2010 優秀作品賞（準グランプリ）　製作：新井 哲（零式 /「ヘビと映子と佐藤のこと」製作委員会）

14:20

太宰治短編小説集　「走れメロス」 25分

国語教科書でも取り上げられる太宰治の名作『走れ メロス』を、現代要素を盛り込んだ実写とアニメーションで映像化。生誕百年にあたって太宰治の名作短編をアニメやCG、現代を舞台にドラマタイズ、現代人に突き刺さる<映像短編小説集>とした作品の中の一つ。

2010 優秀作品賞（準グランプリ）　製作：テレコムスタッフ㈱　ＮＨＫ

Freedom 自由

15:00

棒つきキャンディー 29分

少女漫画に転向した漫画家・千歳。編集者と原稿打ち合わせをするが、ストーリー展開をめぐって二人の意見は対立。実はこのマンガには隠れた秘密があった。心温まる青春ファンタジー。

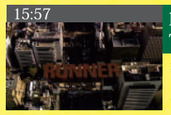
2012 部門優秀賞【パーソナル・コミュニケーション部門】　製作：酒井麻衣（当時 京都造形芸術大学映画学科）

15:31

ノーマン・ザ・スノーマン ～北の国のオーロラ～ 25分

少年は雪ダルマのノーマンと旅に出た。ノーマンが教えてくれた北の国の秘密を確かめるために。人形をストップモーションアニメで1コマずつ撮影した心温まる少年の冒険物語。

2014 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】　製作：太陽企画㈱ / エクスプローラーズ・ジャパン㈱

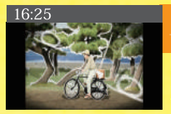
15:57


RUNNER THE SUPER DRY FILMS No.5 12分

舞台は無国籍都市。前身ずぶ濡れで疾走する主人公・香取。その後をバイクで追う謎の男・黒田。香取は、なぜ走り続け、どこへ向かうのか？疾走する主人公を躍動感あふれる映像で捉えた新感覚ノンストップ・ムービー。

2007 優秀技術賞（撮影分野）　製作：㈱電通テック関西支社（現・電通クリエーティブ X）　クライアント：アサヒビール㈱

Development 開発

16:25


二輪車開発物語 4分

スズキの名を世界に広めたオートバイ。その最初の一台目を作ろうと決意したスズキ二代目社長鈴木俊三氏のエピソードを飛び出す絵本風に演出。

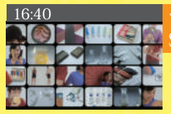
2008 優秀作品賞（準グランプリ）　製作：㈱電通テック　クライアント：スズキ㈱

16:31

帰ってきたもうひとつの遺産 綴 TSUZURI 文化財未来継承プロジェクト 7分48秒

失われた遺産を元の場所へ。シアトル美術館にある狩野孝信筆とされる「琴棋書画図」が龍安寺へ里帰りをする。世界に誇る日本の文化財を最新のデジタル技術と伝統工芸の技を用いて再現し保存するプロジェクトを華麗な映像美で紹介。

2009 経済産業大臣賞　製作：㈱電通クリエーティブ X　クライアント：キヤノン㈱

16:40


すみだ地域ブランド戦略　PR 映像 Sumida Modern 2010/Sumida ものづくり Collaboration 9分4秒

東京スカイツリー開業を契機に、墨田区内の産業・観光等の面から地域をブランド化する「すみだ地域ブランド戦略」。その中から、「すみだブランド認証」と「ものづくりコラボレーション」を紹介。

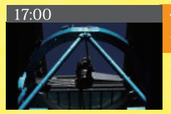
2011 経済産業大臣賞　製作：㈱デジタルスタジオ・ジャパン　クライアント：すみだ地域ブランド推進協議会 / 墨田区産業観光部産業経済課

16:50

ダイハツコペン３D 9分33秒

2012 年 8 月に閉鎖された、ダイハツ大阪池田「コペン」工場。その最終稼働週に密着撮影を敢行し、“職人たちの達成感と寂寥感”を克明に映し出した３Ｄドキュメンタリー。

2013 最優秀作品賞（グランプリ）　製作：㈱東北新社　クライアント：ダイハツ工業㈱

17:00


すばる望遠鏡 Hyper Suprime-Cam 世界最大の補正光学系開発 13分

ハワイ島マウナケア山頂から宇宙を捉える「すばる望遠鏡」。さらに広い視野を求めて開発された Hyper Suprime-Cam に搭載された、キヤノンが開発した主焦点補正光学系のレンズユニットの技術力を伝える。

2014 最優秀作品賞（グランプリ）　製作：㈱イメージサイエンス　クライアント：キヤノン㈱

17:14

つなぐ。まもる。そして、つよくなる。 NTT 東日本・NTT 西日本のユニバーサルサービス 22分

誰もが安心して使える通信サービス、固定電話通信や公衆電話などのユニバーサルサービスを全国くまなく提供する NTT 東日本・NTT 西日本。その維持・保守への取り組みを紹介する。

2015 優秀作品賞（準グランプリ）　製作：ＮＴＴラーニングシステムズ㈱　クライアント：東日本電信電話㈱、西日本電信電話㈱

Peace 平和

17:50

中央区戦災体験者の証言　空襲篇 53分

昭和 19 年末から 20 年にかけて度々空襲に見舞われた中央区に住んでいた人々の空襲体験をまとめた証言記録。一人ひとりの証言はまるで昨日のことのように鮮明で心に響く。

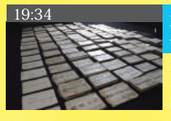
2012 最優秀作品賞（グランプリ）　製作：㈱毎日映画社　クライアント：東京都中央区

18:45

ふじ学徒隊 48分

沖縄戦に従軍した女子学徒隊の殆どが大勢の死者を出した。しかし、戦死者わずか３名にとどまった女子学徒隊があった。それは、なぜか…戦場での生と死をめぐる思いを描いた。

2012 年文部科学大臣賞　製作：㈱海燕社

19:34


大本営最後の指令 ～遺された戦時機密資料が語るもの～ 90分

大本営最後の指令を逃れた戦時機密資料。徴兵制度はどのような仕組みで作成され、国民を兵士に仕立てたのか、民家の蔵に眠っていた兵事資料から徴兵制度の謎が明かされる。

2012 年審査員特別賞　製作：㈱ユニモト

Ecology 生態

10:00

平成　熊あらし ～異常出没を追う～ 1時間1分

豊かな森のシンボルだったクマが今、なぜ人里に出没するようになったのか。日本列島に棲むツキノワグマを生態、保護活動、狩猟文化など多面的に描き「クマ問題」の解決の糸口を探る作品。

2009 最優秀作品賞（グランプリ）　製作：㈱群像舎

11:05

利根川 30分

東京の水道水の 75%を賄う利根川の水。首都との関係は 400 年前の江戸初期に遡る。利根川の流域に残る風習や洪水の歴史を紐解き、人々がどのように川と向き合ってきたのか探っていく。

2007 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】　製作：㈱モンタージュ
クライアント：国土交通省関東地方整備局　利根川上流河川事務所

11:37

支笏湖　カルデラの大地　水と命の輝き 16分

北海道・支笏湖は日本を代表するカルデラ湖。その雄大な自然を全編４Ｋ映像で撮影。悠久の時の流れが創り出したカルデラの自然をダイナミックに描いた４Ｋ展示映像。

2015 優秀作品賞（準グランプリ）　製作：㈱丹青社、北海道映像記録㈱　クライアント：環境省　北海道地方環境事務所

Life 生命

12:30

生きもの 金子兜太の世界 46分

91 歳を迎えた今も現役として活躍する俳人・金子兜太さん。俳句の世界だけにはとどまらない金子兜太さんの生き方や人間観、自然観を、本人のインタビューと多彩な句でつづるドキュメンタリー作品。

2010 最優秀作品賞（グランプリ）　製作：㈱ボルケ　クライアント：㈱紀伊國屋書店

13:20

最期の願い　どうする 自宅での看取り 26分

岐阜県養老町にある船戸クリニックは、700 人もの高齢者が在宅で最期を迎えるのに立ち会ってきた。患者である小寺すみ子さんの在宅ケアを追いながら終末期医療の在り方を考える。

2014 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】　製作：㈱映学社

Culture 文化

14:00

木工芸　ー中川清司のわざー 33分

人間国宝中川清司は、家業の桶屋を受け継いで、桶指物の技術を活かした神代杉の「柾目合わせ」木画箱を作る。長方形や三角形の部材を千二百枚も組み合わせて仕上げていく気の遠くなるような職人技、その制作工程を追う。

35mm フィルム上映
2008 優秀作品賞（準グランプリ）　製作：㈱日経映像　クライアント：文化庁

14:37

白磁　ー井上萬二のわざー 35分

白磁は、近世以降の有田において、主に染付や赤絵などの加飾の素地として発展してきたが、人間国宝・井上萬二は、単なる素地にとどまらない白磁そのものの魅力を見出し、その美を追求している。この映画は、井上の「白磁花形染麦彫文鉢」制作工程を追いながら、そのわざと人となりを描いたもの。

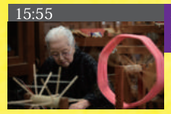
35mm フィルム上映
2009 優秀作品賞（準グランプリ）　製作：㈱桜映画社　クライアント：文化庁

15:15

芭蕉布　ー平良敏子のわざー 30分

沖縄の風土と歴史の中で生まれ育まれてきた芭蕉布。糸芭蕉の栽培から始まって琉球衣装として完成するまでを 94 歳の人間国宝平良敏子さんに寄り添い、その技を克明に記録した。

35mm フィルム上映
2015 最優秀作品賞（グランプリ）　製作：㈱シネマ沖縄　クライアント：文化庁

15:55


色を奏で　いのちを紡ぐ 染織家　志村ふくみ・洋子の世界 71分

染織家、人間国宝の志村ふくみ。娘の洋子とともに、日々紡がれる植物のいのちの色と二人の深いメッセージを通して、次世代に遺すべき普遍的な生命感を解き明かしていく。

2011 文部科学大臣賞　製作：㈱ボルケ　クライアント：㈱紀伊國屋書店

Crisis 危機

17:20

米の放射能汚染ゼロへの挑戦 2011 年福島天栄村の記録 28分

原発事故後、放射性物質移行ゼロの安全な米作りを目指し「出来ることは何でも試みよう」と動き始めた福島県天栄村の「天栄米栽培研究会」の1年にわたる取り組みを伝える。

2012 年審査員特別賞　製作：㈱桜映画社　クライアント：天栄米栽培研究会

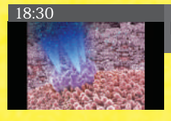
17:51

原発被災地になった故郷への旅 ー福島県南相馬市ー 30分

福島第一原発から 20 キロ圏内の町、小高出身の小説家・志賀泉が傷ついた故郷を歩き、少年時代の思い出を語る。放射能に汚染された故郷、それでも、風景はやさしく、美しい。

2014 部門優秀賞【パーソナル・コミュニケーション部門】　製作：杉田このみ

Science 科学

18:30


時空キューブ 生命 01　呼吸 34分

生命現象を<時空キューブ>という新しい表現で描く科学映画シリーズ。「呼吸」を取り上げ、酸素がどのように体内に取り込まれ、二酸化炭素となって排出されるか、内呼吸から外呼吸まで一貫して描く。

2010 優秀企画賞（生命科学）　製作：㈱アイカム

19:07

新宿に生きた縄文人 ー市谷加賀町二丁目遺跡の発掘ー 23分

骨が溶ける酸性土壌の新宿で縄文期の人骨が！学者達がどよめいた。どうして人骨が残ったのか？最新の分析技術を用いて、今までにない縄文期の人物像が明らかになっていく。

2014 優秀企画賞　製作：㈱日映企画　クライアント：新宿区

19:32

HAYABUSA -BACK TO THE EARTH- 帰還バージョン 45分

「おかえり、はやぶさ･･･そしてありがとう。」2010 年 6 月 13 日、はやぶさは地球に帰還し、その姿は我々に大いなる感動を与えた。広大な宇宙空間を、はやぶさと旅する CG 映像。

2011 最優秀作品賞（グランプリ）　製作：㈱ライブ　クライアント：「はやぶさ」大型映像制作委員会